

きょうと・しじょう

2019 Vol.56

京 都

四 条

●特集グラビア

四 条 まちなか 祭 事 記

四 条 へ の 手 紙 ● 公益財団法人 有斐斎弘道館 濱崎 加奈子
代表理事

CLOSE UP MISE ● BAPE STORE® 京都

私 の 四 条 通 り ● 池善化粧品店 井上 清次・京子

京 洛 墨 彩 ● 五山送り火

四 条 昔 語 り ● 滝川 一

新装なった南座に想う

「素人顔見世」と戦時下の映画の思い出



CONTENTS

京都、四季 2019

四条への手紙

時空を旅する「口」

2

■特集グラビア

四条 まちなか祭事記 3~10

CLOSE UP MISE ファッションの枠を超えて京都・四条から発信する、日本の「いま」 BAPE STORE®京都 11~13

コラム・京おんなは知っている、ヒミツの… 次世代型コミュニティが時代を変える! 赤城加奈乃 14~15

京都知れば知るほど 京の食文化一洲濱 16~17

私の四条通り お商売に、まちづくりに人と人を繋ぐ「お互いさん」の心 池善化粧品店 井上清次・京子 18~21

京洛墨彩 五山送り火 22~23

コラム四条 平成から令和へ、いまこそ、新しい時代に聞きたいのどす! 京野 優女 24~25

京都漫步 新元号「令和」 26

四条の道具 受け継いできた祭への奉仕の心と巡行順に並ぶ「山鉦の模型」。京人形 田中彌の「祇園祭 山鉦の模型」 27~29

四条昔語り 新装なった南座に想う「素人顔見世」と戦時下の映画の思い出 滝川 一 30~31

四条問わず語り 八坂神社の蛭子船に思う／すべてのモノにストーリーがあり、
その背景を知ることがモノの本当の価値を知ることにつながる 32~33

おこしやす 京の歳時記 34~35

歌舞伎コラム 『天満宮菜種御供』 36

PRESENT FOR YOU 37

PHOTO MUSEUM 写真で見る懐かしの四条 京の観光振興の契機となった大正・昭和の「御大典」 38~39

おもてなし百彩 40~42

インフォメーション四条 43

四条界限マップ・四条繁栄会加盟店 44~47

表紙／祇園祭 前祭 長刀鉦と四条河原町
祇園祭・山鉦巡行の前祭が行われる7月17日。写真は先頭を行く長刀鉦が四条通から四条河原町の交差点まで進んだところを撮影したもので、鉦の背景には高島屋京都店と池善化粧品店の洋館が見える。鉦を方向転換する「辻回し」は巡行の見どころの一つ。
(写真提供:公益財団法人祇園祭山鉦連合会)

四条繁栄会商店街振興組合

ホームページ <https://www.kyoto-shijo.or.jp>
E-mail office@kyoto-shijo.or.jp



もっと素晴らしい四条通に
してゆきたい…。

そんな想いを
綴ったページです。
さまざまな方々からの
いろいろな視点での
お手紙を頂戴しております。

時空を旅する「口」

公益財団法人 有斐斎弘道館 代表理事 濱崎 加奈子

四条通は、京阪、阪急、地下鉄、そして嵐電と、いくつもの電鉄が乗り入れている、さながらかつての「口」のようだ、と思うと楽しくなる。「口」とは京への入口であり出口であるからして、人が行き交い、茶店などの商いがおこる。同時に「口」は、未知のものが往来するわけで、異世界との接点としてお祓いが行われた場所でもあった。そのような祭祀はのちに、人々を楽しませる芸能へとつながっていったりもした。

もちろんこれは現代のことを言うのではない。今や大阪や神戸が異界というわけにはいかないし、四条より南や北、あるいは西のエリアを、異文化の地とも言えない。文化の均質化はある種近代のもたらした成果でもある一方で、文化とは何か、街とは何かということを考えさせられる。

四条通を歩いていて、ハッとさせられる場所がいくつかある。四条寺町の御旅所の冠者殿社はその一つである。店先のモノたちを見ながらそぞろ歩いているとき、ふと横目に気配を感じて立ち止まる。河原町から烏丸へと人をわけながら目的地をさして歩むような時はなおのこと、ざわめく街をよそに、奥深く鎮まるその佇まいに、時を忘れてしまう。

そのような時に、振りかえれば東山、八坂の石段、そして鴨川。西の向こうは桂川に松尾の社。変わらぬ地形と千年の祈りの中に自らの身が置かれている現実、不思議な感覚を覚えるのである。四条は交通の要衝であるだけでなく、時空を旅する「口」なのかもしれない。

PROFILE

プロフィール

濱崎 加奈子 (はまさき かなこ)



神戸市出身。京都大学文学部(美学美術史学)卒業。東京大学大学院(表象文化論)博士課程修了。学術博士。公益財団法人有斐斎弘道館の代表理事を務め、伝統文化プロデュース連を主宰。また、専修大学文学部准教授、北野天満宮和歌撰者、京都観光おもてなし大使など、多方面で活動。著書に『ふろしき』(バイインターナショナル)、『香道の美学—その成立と王権・連歌』(思文閣出版)、共著に『京の花街—ひと・わざ・まち』(日本評論社)、『京菓子と琳派』(淡交社)、『平成のちやかぼん』(淡交社)ほか。

特集

グラビア

四条 まちなか祭事記

寺社の多い京都は一年を通して祭の多いまち。

いまではたくさんのビルや商店が立ち並び

近代化された四条のまちでも

長い歴史のなかで信仰を集めてきた

さまざまな祭が行われています。

まちなかに、暮らしのなかに

脈々と受け継がれてきた祈りの心と

そこに込められた人々の願いを再見します。

ファッションの枠を超えて京都・ 四条から発信する、 日本の「いま」

BAPE STORE®京都



広々として近未来をイメージさせるスタイリッシュな店内。



「エイプヘッド」は
ブランドのアイコン。

ブランドの新しい顔として この春リニューアル

四条通御幸町の角、北側の歩道から南を眺めると、ひときわ目を引くのは巨大な「猿」の顔。この春、四条御旅町から移転した「BAPE STORE® (ベイプストア) 京都」の二階壁面には、ブランドのアイコンである「APE HEAD (エイプヘッド)」が掲げられ、ガラス窓からはフーディーを身にまとった7体のボディが通りを見下ろし

ています。店に足を踏み入ると10mほどもある高い天井を生かした開放的な吹き抜けが広がり、シルバーの鏡面が張り巡らされた店内は、近未来を思わせるデザイン。これまでのポップでアーティスティックなイメージの店舗から、がらりと変わった印象です。聞けば、新しいブランドの顔としてリニューアルするのは、日本では原宿本店に次ぐ2店舗目とか。ブランド誕生から26年を経たいま、新たなステージが京都で始まろうとしています。



「学生のときから親しんできた
四条のまちの楽しさを、お客様にも
知っていただくお手伝いができれば」と、
店長の吉村俊祐さん。

東京から世界へ ストリートカジュアルを牽引

ブランドの設立は1993年。東京・原宿のブランド群の代表的な存在として知られるようになり、以来、ストリートファッションのシンボルであり続け、シーンを牽引しています。

BAPE®とは、ブランド名の「A BATHING APE®（ア ベイシング エイプ）」を略したもので、意味は「ぬるま湯に浸かった猿」。京都店の壁面を飾る「エイプヘッド」に始まり、迷彩柄（カモフラージュ）と組み合わせた「ベイブカモ」、フードを鯨の口に見立てた「シャークフーディー」、猿をかわいくデフォルメした「ベイビーマイロ®」など、アイコン的なデザインやアイテム、オリジナルパターン&キャラクターを発表し、国内外から高く支持されてきました。現在はメンズ、レディース、キッズのカジュアルラインのほか、メンズスーツ、眼鏡・サングラスなどのアイウェアなど



吹き抜けの高い天井が開放的な2Fフロア。

を拡充させ、アメリカ、ヨーロッパ、アジア諸国にも店舗を展開しています。

京都には2002年、三条通に初出店。2009年12月に四条通御旅町へ移転オープンした際には、限定品を手に入れようというファンが詰めかけ、四条通から地下通路にまで伸びた長い行列は話題を呼びました。

新たなムーブメントが生まれる場に

名だたる国際的なブランドや著名アーティストとのコラボレーションも数多く成功させ、ファッションやアパレルといったカテゴリーにとらわれない活動を行っているA BATHING APE®。京都でも過去には老舗の永楽屋とともに風呂敷や手ぬぐいを発表したり、扇の舞泉堂とコラボも展開しました。

以前の店舗「BAPEXCLUSIVE京都」にはギャラリーが併設され、数多くのアートエキシビションが開催されてきましたが、新店舗ではギャラリーに替わってカフェスペースが登場。買い物に訪れた人に一杯ずつ丁寧に煎れてくれるエスプレッソは好評です。「もちろん新店舗でもアートとの



▲ソファの奥にはキッズラインがそろう。

▶プレゼントにも人気の
「ベイビーマイロ®」の
キッズTシャツ。





フーディーを纏ったボディたちが四条通を見下ろす。

つながりは変わりません」とは店長の吉村俊祐さん。2Fの大空間にはアートワークが展示される予定で、イベントも企画していきたいと意気込みます。「ブランドが誕生したころは、ショップはお客様やアーティストたちのコミュニケーションの場であり、"たまり場"でした。そこから生まれるムーブメントを広く発信したのはまさに先駆けといえるでしょう。新店舗ではそれを新しいスタイルでやっていきたいと思っています」。

京都限定の商品も数多く取り揃えており、日本各地だけでなく海外からもそれを求めて訪れる人があるとか。とくに京都は年配の方から子どもまで顧客の年齢層が幅広く、最近は海外からの旅行者も増えています。「京都だから京都らしい店へ、というのではなく、日本を代表するブランドは京都へ行けばほとんどが手に入る、と考えて訪れておられる人も多いはず。四条はそれに応えられるまちだと感じています」と吉村さん。

日本の「いま」を四条から発信し続けるブランドのパワーに、これからも期待したいところです。



人気の高い「シャークフーディー」。

BAPE STORE® 京都

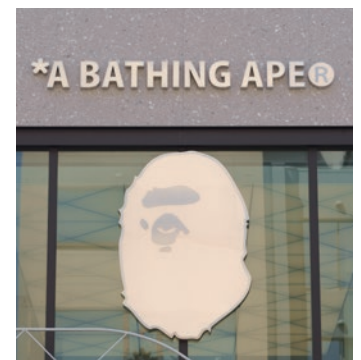
京都市下京区四条通寺町西入ル奈良物町374 TEL.075-741-7745
【営業時間】11:00~20:00 【休業日】無休 【URL】<https://bape.com>



パイプのアイコンがドリッパーにも。



迷彩柄をアクセントにしたカフェスペース。





次世代型コミュニ

「祭り」と言えば、感謝や祈りなどの宗教的な要素や非日常的イベントとしての存在だけにフォーカスしがちである。しかし、忘れてならないのは、「祭り」を媒介とした地域社会や共同体というコミュニティとしての側面である。コミュニティは情報交換や情報共有に必要なだけでなく、まとまりを作り、帰属意識を生む。その結果、地域の伝統や習慣は継承され、発展してきた。また、共同体であるコミュニティが大きく発展すれば、交渉力を持つようになり、コミュニティに属するメンバーに大きなプラスの効果をもたらした。

しかし今、コミュニティの在り方は、ダイナミックに変化している。リアルに会っていたのが、手軽なオンラインビデオを使ったコミュニティへと形態が変化しているだけではない。それ以上にコミュニティの在り方が、これまでとは全く違うものへと変貌しているのである。果たして京都のコミュニティは、この大きな変化の波に乗り遅れず、次世代へとコミュニティを発展させ、継承することができるだろうか？

従来のコミュニティは、リーダー主導型であった。トップダウン型とも言える。リーダーはコミュニティを存続させることを最優先にして、所属する人たちをどう動かすのかを考えた。コミュニティのメンバーは将棋の駒のような存在で、リーダーは、コミュニティが生き延びるために駒である人を采配する。参加者たちは、リーダーに何をすべきか、何が最適解なのかを質問し、その答えをリーダーがコミュニティ・メンバーにフィードバックすることで成り立っていた。その結果、リーダーは常に最適解を求められ、リーダーの器に比例する形でしか

ティが時代を変える!

コミュニティは発展しなかった。このようなコミュニティでは、リーダーがコミュニティ運営のエンジンであるため、リーダーが止まると組織としてのコミュニティも止まってしまう問題点があった。

一方、次世代のコミュニティは全く違う。従来はリーダーがビジョンを掲げ、メンバーはそれについていくだけであったが、新しいタイプでは、参加者もそれぞれのビジョンを掲げる。なぜなら新しいタイプのコミュニティでは、そのコミュニティがどんな役割を果たすために存在しているのか? だけが明確であり、それ以外については、むしろコミュニティのメンバーそれぞれが、自らがコミュニティのためにできる貢献は何かを考え、自発的に行動するからである。リーダーの役割は、最適解を示すことではなく、心理的に安心できる場を提供し、メンバーを見守ることである。ここでは、メンバーを動かす必要はない。なぜなら、メンバーは自分にできる貢献を行いたいと自ら奮い立つからである。また、参加者それぞれがコミュニティ運営のエンジンであるため、リーダーが前に出なくても、コミュニティ内では参加者の自発的な行動によって、リーダーの枠を超えてどんどん物事が進んでいく。

そんなことがあり得るのか? と思うかもしれない。事例をあげよう。今年の3月に京都大学経営管理大学院から学位を授与され、修了した私は、「Heroine Power (ヒロイン・パワー)」というオンライン・サロンを立ち上げた。私がこのオンライン上のコミュニティを創設した理由は、たった1つ。起業するしないにかかわらず、

女性が「起業家マインド」を持つことで、自分の人生だけでなく、世の中をより良く変えることができるという信念があるからだ。「起業家マインド」とは、起業家の考え方や行動様式とされるが、私はもう少し大きな視点から「自分の人生を自らデザインし、より良くする力」こそが「起業家マインド」であると考えている。そして、女性がこのような「起業家マインド」を持つことは、大きな価値があると信じている。このサロンでは、すでに新しいスタイルのコミュニティ運営が成り立っていて、メンバーは自分が貢献できることを自発的に行動で示すため、設立当初のイメージとは全く異なる形で、コミュニティが展開をし始めている。私はここに大きな可能性を感じている。平成が終わり、令和がスタートした今、京都も次世代型へと移行できるかどうか、大きな岐路に立っている。



文：赤城加奈乃(あかぎかなの)

イラスト：たつみ まさる

京の食文化

洲濱

浅煎りの大豆粉と砂糖、
水飴で練り上げた素朴な豆菓子「洲濱」。
京都の人々にとって、お茶の席や
日々のお菓子になじみの深い味ですが
専門に扱う店は途絶えてしまっていました。
それを惜しんで復活させたのは
お茶の家に生まれた若い女性。
蘇った懐かしい味に、たくさんの
応援の声があがっています。

平安時代からおめでたい紋様として用いられてきた洲濱紋。それを模したことから「洲濱」と呼ばれるようになった豆菓子。写真は右頁の竿ものを切り分けたもの。

寄せては返す波に、浜辺の砂がつくる入り込んだ洲。そのかたちを意匠にしたものを洲濱紋と呼び、平安の昔からおめでたい紋様として用いられてきました。現在私たちが「洲濱」と呼ぶお菓子は、古くは豆飴と呼ばれ、洲濱紋を模してつくられるようになったことから、この豆菓子そのものを洲濱と呼ぶようになったといえます。手軽な手土産として小さな三色団子仕立てにしたものもよく知られていますが、本来は竿ものを切り分けて供されます。

洲濱の起源は鎌倉時代ともいわれ、桃山～江戸時代にはお菓子の主流の一つでした。大豆をきなこよりも浅く煎った「洲濱粉」にし、砂糖と水飴を練り合わせてつくられ、素朴でシンプルな甘さが持ち味。あんこが普及するとそちらが和菓子の中心になり、数年前にはついに専門店もなくなってしまっていました。

その最後の一軒とは、明暦3年(1657年)創業の御洲濱司「植村義次」。2016年に惜しまれつつ閉店しましたが、翌年、店主の植村さんのもとを父とともに訪ねたのが、まだ学生だった芳野綾子さん。茶道教授の家に生まれた綾子さんは、代々、初釜のときには植村義次の洲濱で来客をもてなしてきたこともあり、「次の初釜のために作り方を教えてもらえませんか」と頼んだのだといえます。その申し出に感激した植村さんは、綾子さんにレシピを直伝。植村さんの自宅に試作品を持参した際、コーヒーにも合うと教えてもらったことをきっかけに、「洲濱を楽しめるカフェができれば」と考えるようになったとか。ちょうど植村さんの店が閉店後もそのままになっていたこともあり、その場所で昨年11月に喫茶店を備えた「すはま屋」をオープンしました。

材料がシンプルだけに微妙な匙加減に苦心するといいますが、いまでは竿もののほか、手びねりでつくる一口サイズの「春日の豆」も復活させています。植村義次にはもう一つ、薄くのばした洲濱生地で季節の紋様をつくる「押しもの」の名物があり、綾子さんのもとにはその復活を望む声も寄せられています。「まだまだ難しいところですが、技術を磨いて、いつかお店に並べられたら」とほほ笑む姿に期待したいところです。



▲切った断面が洲濱紋のかたちになる。竿ものは2日前までに要予約。

▶コーヒーに添えられてくれるのは「春日の豆」。



味とともに店舗も受け継ぎ、奥はカフェに。

すはま屋〈取材・資料提供〉

京都市中京区丸太町通烏丸西入ル常真横町193
TEL.075-744-0593



植村義次に伝わってきた看板は、黄檗山萬福寺四十七代管長・直翁廣質の筆。

お商売に、
まちづくりに
人と人を繋ぐ
「お互いさん」の心

池善化粧品店 代表取締役社長

井上清次さん・京子さんご夫妻

四条河原町角に90年

——このたびは、長年、四条のまちでお商売に携わり、また、商店街や業界団体、自治会などに数多く尽力してこられた井上清次様・京子様ご夫妻にお話をうかがいます。来し方を振り返っていただき、そこから四条の歩みをたどることで、これからのまちのあり方について考えたいと思います。まず一番におうかがいたいのは、高島屋京都店さんの隣に位置する池善化粧品店さんの特徴的な立地についてです。どのような経緯で現在のかたちになったのか、ぜひお教えいただけますか？（以下敬称略）

【清次】店は私が生まれる2年前、昭和5年に先代の伯父が建てたものです。それまでもこの地で商売をしていたのですが、河原町通の拡幅で土地が80坪から20坪にまで削られたために、モノが小さい化粧品ならここでも商売ができるやろ、と池善金物店から独立したそうです。

——鉄筋コンクリートの洋館は当時、珍しかったですよね。

【清次】鴨川畔にある菊水ビルや東華菜館の少しあとに建ったもので、うちも創業から90年程になります。ビルの土台部分には松脂が50センチほど積んであるそうで揺れには強く、阪神大震災のときも棚の商品が落ちなかった。

【京子】建築当時、高島屋さんは烏丸松原のほうにあり、四条河原町あたりに10銭均一店を出しておられました。その御縁でお町内と懇意になられたこともあって、用地の話もわりとスムーズに進んだと聞きました。

——そのとき池善さんでは移転をお考えにならなかったんですか？

【清次】当時は先代の伯父の物件でもあり、あまり関心がなかったんでしょう。先代はのんきな性格でしたから。戦争の影響もあって高島屋さんが完成したのは終戦から数年後。私の代になっても不動産屋さんなどからたびたびお話はありましたが立ち退きは考えませんでしたね。平成12年に、池善の名を遺せるようにと私が買い取りました。



昭和初めごろ、建築途中の池善化粧品店ビル。（写真提供：本家常久）

【京子】かといって高島屋さんと仲が悪い訳ではないんですよ。昔のことですから言ってもかまわないでしょうが、百貨店のなかの化粧品売り場で急遽欠品が出たときなんかは、美容部員の方がうちへ商品を借りにこられることもありました。ゆったりした時代で、いまでは考えられないことですね（笑）。

まちは364日、休みなし

——四条界限には「池善」さんの屋号がいくつもありますね。

【清次】江戸時代には池田藩の甲冑師だったそうです。京都御所にも納めていたそうで、明治に入ってから先々代が金物屋を初めて、池田屋善兵衛の名から取って池善。化粧品店を始めた先代はその三男で、次男は金物屋の隣で洋食器屋をやっていました。四条小橋の西に2軒並んでいて、私は洋食器屋のほうの次男に生まれ、子どものいなかった先代夫妻のところへ跡取りとして養子に入ったんです。当時は化粧品店の3階に住んでいたんですよ。

【京子】主人が大学生のときに先代夫妻に男の子が生まれて。それがいまの専務です。



【清次】跡を継がなくていいのかな、それなら教師にでもなろうか、と思っていたら、卒業目前になって先代に「おまえは化粧品屋になるんや」と言われ…。

【京子】主人が入店した3年後の昭和33年に結婚しました。実は私も遠縁で、幼いころから主人と結婚することは決まっていた。この店を手伝うものだと思って育って来ましたし、四条と目と鼻の先に住んでいましたので、お商売にもまちにも割合にすんなり溶け込めたかもしれません。

【清次】あのころはどここの店でも休みは正月の1日だけ。平日9時に店を開けて、終電が通る11時すぎまで仕事です。これだけ仕事しても給料はゼロ円。小遣いがないので、店の西南にたばこ屋を始めました。それでも先代はお金を出してくれませんでしたので、開店資金は家内の実家から助けてもらう始末です(笑)。

【京子】店と自宅が近かったので、合間、合間を見て家に帰ってね。家族が力をあわせないと店も家もまわりません。ちょうど世のなかも豊かになってきて、女性たちが外へ働きに出ることが増え、化粧品はよく売れました。木屋町北東角にあった不二家さんの3階を借りて、メイクの講習会なんかも月に何回も開いたものです。毎回大盛況で。

【清次】多いときは3,000人の顧客をもって、案内状や誕生日プレゼントを送ったりしてね。

【京子】だから子どもが少し大きくなってからは家のことはお手伝いのおばさんに任せきりでした。近所の店の奥さんがたもみんな同じ。閉店後、畠善さんの裏にあった銭湯に通うんですが、そこが四条通の奥さんたちの深夜の社交場になっていましたね。目が回るように忙しかったけれど、懐かしい思い出です。寺内さんの大奥様や若奥さん、龍善堂の先代の奥様、田むとさんの現会長のお母様にもそこでよくお会いしましたね。呉服のみのやさんの先々代の奥様は娘たちのお習字の先生でした。女性がたにはお商売を離れてそういったご近所のお付き合いもたくさんあったんですよ。

ご奉仕の楽しさ、豊かさ

【清次】店の仕事を手伝うようになるのと前後して、四条繁栄会の新人会に入りました。入ったころはまだ立命館の学生でした。当時、四条の野球チームは向かうところ敵なしの強さだったのですが、それもそのはず、私が大学の選手数名をこっそり引っ張ってきていたからで(笑)。とはいえ、朝早くから夜遅くまで店を開けているのに野球の朝練までして、みなさんすごいバイタリティーでした。とにかく売り出しでも何でも先輩方に「やれ!」と言われたら断れない。でも、みんな嫌々やっていたのでもなく、まちの役に立つのは楽しかった。私も誰に言われたわけでもなく、バケツと雑巾を手に四条のすずらん灯を西から東まで一人で磨いて回ったこともありました。

【京子】商店街からも、お町内からも、あっちこっちへ行楽や旅行に連れて行ってもらいましたよね。お商売を越えて横のつながりも生まれました。

【清次】祇園祭では、いまでもこそ長刀鉾の理事などをさせてもらっていますが、鉾町の人間でもないのにご奉仕させてもらうようになったのも四条繁栄会が御縁でした。40年ほど前、鉾町の商店主が次々にまちを離れ、銀行や商社が多くなっ

て、鉾の担い手が激減していったんです。そんななかで、商店街にお手伝いの依頼をいただいた。最初は懸装品などを管理する資材方の御役目をもらい6月末からお祭りが終わるまで朝早くから夜遅くまで、裸電球に埃だらけの蔵に出入りしていました。いまではユネスコ無形文化遺産に認定され、文化財としての価値もきちんと調査されていますが、当時は何もわからず、布がほつれていれば慣れない針と糸でかがったこともありました。知らなかったとはいえ、思い返せば冷や汗が出るような大変なことで反省しきりです。長刀鉾の懸装品がニューヨークのメトロポリタン美術館に展示されたときには特使として同道し、緊張しましたが貴重な経験をさせていただくこともできました。亡くなりましたが、亮ちゃんこと四条繁栄会の前々理事長だったみのやの高橋亮太郎さんや、畠善の亀井孝次郎さんにもお声を掛けさせていただき、長刀鉾のお役で長らく一緒にしましたし、若い世代では林万昌堂の林雅彦君や、鈴鹿弘人君もご奉仕に加わってもらい、漆器のアソベの遊部尋志君はもうすでにずいぶん長く稚児係を務めていただいています。

【京子】留守を預かる私としては大変です（笑）。とくにお祭りの時期は京都は人も多くなり、店も忙しくなるうえ、お祭り見物のお客さんもうちにお見えになる。もうてんやわんやです。でも、主人が声をかけてお役を務めてくださるようになった方

には責任がありますから、袴や紋付袴を預かり、この数十年間、巡行当日の朝は私どものところへ袴の着付けに来られます。昼過ぎには帰って来られるので、昼食をとっていただき、順番にお風呂に入ってもらって、午後2時ごろ、今度は長刀鉾の解体にまた出ていかれます。



そういったお手伝いなどはできるだけさせていただこうと思っています。

【清次】化粧品の業界団体や商店街の役を務めたときには、問題に対応したり、外部からの圧力に対峙したり、苦労もありました。いまでも自治会長を務めており、さすがに町費を集めてまわるのにも限界を感じつつあります。ただ、どんなに大変だったとしても、私も諸先輩方から恩を受けてきた身ですから、できる限りお返ししたいと思うのです。

【京子】若い方には、町内会やら集まりやらを敬遠する人も増えていると聞きますね。なかなかお役を変わってくださる方もなくて…。

【清次】やはりお互いさんの心はいいものですよ。団結すれば一人ではできないような大きいこともできます。祭も、まちのことも、ご奉仕というのはやはり楽しいものです。みんなが気持ちよく、無理なくかかわっていけるように、ルールにとらわれすぎず、しめつけすぎず、というのがコツかもしれません（笑）。——楽しいお話に加え、長年のご経験をご教示いただきとても良い機会になりました。ご協力誠にありがとうございました。

PROFILE

井上 清次（いのうえ きよつぐ）・京子（きょうこ）

清次さんは昭和7年（1932年）、京子さんは同11年（1936年）生まれ。昭和29年（1954年）に立命館大学理工学部を卒業した清次さんは同年池善化粧品店入店。3年後に結婚し、昭和58年（1983年）に代表取締役社長に就任。四条繁栄会商店街振興組合理事や京都府化粧品商業組合顧問、八坂神社清々講社幹事長などを歴任し、現在は公益財団法人長刀鉾保存会理事、永松自治連合会会長を務める。平成17年（2005年）には法務大臣より表彰を受け、旭日雙光章を受章。

祇園祭に袴姿で奉仕する清次さん



KYORAKU-BOKUSAI

京洛墨彩

2019

送【ソウ・おくる】

人を見おくる。おくり届ける。やる、つかわす。
ひいてははなむけ、おくりもの。

送



ま
ち
の
灯
を
見
下
ろ
す
山
に
点
る
送
り
火。
浮
か
ぶ
炎
に
手
を
あ
わ
せ
そ
つ
と
心
に
祈
り
を
灯
す。
山
あ
か
り
の
向
こ
う
に
去
つ
て
ゆ
く
の
は
暑
か
つ
た
夏
の
日
か、
懐
か
し
い
面
影
か。

盆に迎えた精霊を彼岸へ送る五山の火。京都盆地を囲む山に「大文字」「妙法」「船形」「左大文字」「鳥居形」をかたどった火が点され、京都の夏に終わりを告げる風物詩として知られています。

起源は定かではなく、たとえば大文字には、弘法大師が始めたという説や、足利義政が嫡子の菩提を弔うために相国寺に祈願したなどさまざまな説が伝わっています。また、かつては「い」「一」「竹の先に鈴」「蛇」「長刀」などの送り火もあったそうですが、現在では五山のみ。8月16日の送り火当日、山上の火床には切り出した赤松が井桁に組み上げられ、そこに人々が厄除けや病氣平癒を願って奉納した護摩木が入れます。大文字山では点火を前に、火床そばにある弘法大師堂で経があげられ、心身を清めたのちに親火が松明から移されます。午後8時、大文字への点火に続き、次々にほかの山に火が点されていきます。

丸い盆に水や酒を入れ、送り火を映して飲むと中風にならないといわれているほか、からけしを白地に包んで水引で縛り、戸口に吊ると疫病除けや盗難除けになるとも、煎じて飲めば病氣封じになるといわれ、送り火に込めた願いが、さまざまな風習となっていまに伝えられています。

京都の人々が「大文字焼き」と呼ぶのを嫌うのはよく知られた話。単なる山焼きではなく、山に火が点る時間は、懐かしく大切な人と思う祈りのときです。カメラやスマートフォンはひとまず置いて、まずは手をあわせてみませんか。

五山送り火

写真●田口郁明

平成から令和へ、
いまこそ、新しい時代に
問いたいのどす！



高級ブランドショップや百貨店が立ち並ぶ東京・銀座の並木通りに、「MUJI HOTEL」がオープンしたんやそうどすなあ。すでに、中国の深圳（シンセン）と北京には昨年オープンしたそうで、国内では初めてなんやそうどす。

「無印」いうたら、『わけあって、安い』がキャッチフレーズとした。スーパー西友のプライベートブランドで人気があったんどす。バブル景気に向かう時代に生まれたこの「無印」はブランド志向の強まる消費社会へのアンチテーゼみたいなもんだしたなあ。

自然素材にこだわり、生産工程・包装の簡略化によって、消費者目線で、暮らしに役立つ「安くて良い品」の開発を徹底してたんどす。飽きのこないデザインや質の良さ、そして独特の世界観に、私もそのころからのファンどす。



そやけど、ここ最近では製造技術が進んだことやネット通販の拡大で、無印と似たような商品が出てきたんどす。安さを追求するんやったら、百貨もあなどれまへん。国内家具最大手も、生活雑貨の品揃えをして積極的に都市部に出店してきたんで、「無印」のシンプルさや手頃感を訴求するだけでは、もう差別化に限界が出てきたんどす。そんで、銀座の新旗艦店とホテルで独自コンセプトを改めて強く発信しはったんどす。商品自体の違いだけでのうて、企業のものづくりの考え方、哲学みたいなもんをお客さんが評価する時代になったんどすなあ。「消費社会の象徴」ともいえる銀座のど真ん中に出てくるというのも新しい時代への挑戦、勝負をかけはったんどすやろか…。それにしてもモノが売れへん時代なんどすなあ。安いだけではあかんし、みんなあんまりお金をつかわはらへん。心が動かへんのかも…。大人かわいいガーリーファッションで90年代を風靡した有名ブランドが平成とともに、終了しはったそうどすなあ。その当時の20代にとっ

て服に数万円は、そんなに安い値段ではなかった
んやけど、この時代はまだ若者のファッション意識と
して、『高いお金を払うても好きなブランドの服を着
たい!』という服に対する強い憧れがあったんどす。



そやけどリーマンショック以降に、いくつものファストファッションブランド
(ユニクロ・H&Mなど) が出現して、アパレルの世界では低価格競
争が始まったんどす。これでお金のない20代はブランドの服を一着
買うよりも、手軽にたくさん服が買えることに価値を感じ、だんだん
ターゲットのニーズとブランドの価格設定との間にミスマッチが起きて
いったんと違いますやろか。かつて京都に都が置かれ、天皇はんも
おいやした。いまでも都やというおかたもいひります。千二百余年の長
い歴史の中で育まれたものづくりとその物語、物質文化と精神文化
が相互に刺激しあって発展してきたまちなんどす。茶道がなかった
ら千家十職の技はなく、花街がなかったら友禅^{ペペ}の着物や西陣織の
技はとっくに消えてたかもしれまへん。独自の食文化が京の漆器や
清水焼などの創意工夫を生んだんどす。京都が世界から認められ
てるのはそうした精神性の高いものづくりの歴史があるさかい、世
界中の人たちがこのまちを訪れ、高い評価をしてるのどすえ。ス
マートフォンがあつたら電話もかけられるし、買い物かてできて、いろ
んな情報も簡単に手に入るほんまに便利な時代になったけど、この
まま突き進んでええんやろか? いまこそ、日本全国民に問いたい!
京のお人の暮らしの美学、生き方の哲学みたいなもんが令和という、

新しい時代には必要やないかと
そう、思うてるのどす。



京野優女(きょうのやしょうめ)

新元号「令和」

●作者プロフィール

辰巳 優 (たつみ まさる)

1951年 (昭和26年) 京都生まれ

1992年 読売国際漫画大賞優秀賞

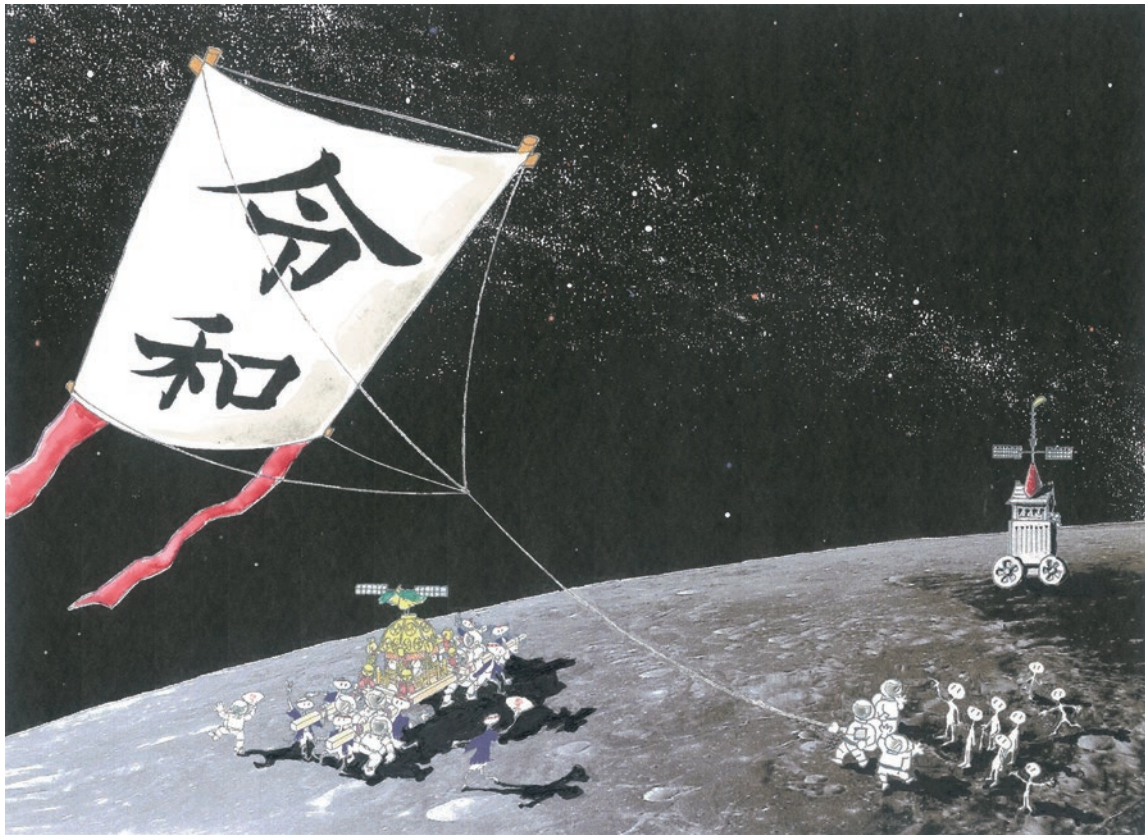
1993年 ユーモア広告大賞ビジュアル賞

1994年 飛騨高山漫画フェスタ入賞

1998年 長野五輪四文字熟語漫画最優秀賞

京都漫歩

新元号「令和」が5月1日より施行されました。
平成は幕を閉じ、新しい時代のスタートです。
今や人類は宇宙へと視界を広げ、未知の惑星へ
探査機が夢を現実のものとしします。
行きつく先はリゅうぐうの楽園か、
はたまたブラックホールか。
夢は夢である方がよろしいかも。



四 道

SHIJO no dougu

四条界隈で商いを営む人たち。
ここには必ずといっていいほど、
自分たちの商品やサービスを誇りある高さに導き、
保つための道具があります。

条 具



シリーズ 54

京人形 田中彌の「祇園祭 山鉾の模型」

受け継いできた祭への奉仕の心と 巡行順に並ぶ「山鉾の模型」。



7月2日の祇園祭「くじ取り式」が終わってすぐ、その年の巡行順に並べられる山鉾の模型。



模型を並べ替えるように
四条通に行く人々も興味津々。

四 SHIJO no dougu 条具
の
道 シリーズ 54

祇園祭のころの四条通を歩くと、「楽しみなのは?」と聞かれて田中彌のショーウィンドウを上げる人は多いだろう。通りに面して横に長くつくられた展示台には、祭の時期になると山鉾の模型がずらりと並ぶ。とはいえこれは売り物ではなく、田中彌が職人に作らせ、集めてきた非売品で、木製の精巧なミニチュアはすべての山鉾がそろっている。模型はその年の巡行順に並べられており、祭見物の際にはここで順番を確かめていくという声もよく耳にする。

山鉾巡行を前にした7月2日、京都市役所でその年の巡行順を決める「くじ取り式」が行われ、模型の展示は結果を受けてすぐに準備が始まる。ショーウィンドウへの展示は4～50年ほど前に店舗を改装したときから行われているが、模型自体は古いもので100年以上前のものもあると思われる。「実ははっきりしたことはわからないんです」とは、八代目当主の田中太郎さん。「全部をいちどきにつくったのでもなく、代々こつこつ集めてきたものですし、四条傘鉾や大船鉾は復活にあわせて新たにあつらえています」。文化5年(1808年)の創業以来、京人形の伝統を守り、多くの職人を東ねてきた田中彌にとって、自らのために手の込んだ模型をつくらせることは職人たちの技術研鑽の意味もあったのだろう。



人間国宝・林駒夫氏の手による山鉾の御神体人形のコレクション「祇園会 作品集」。



恒例の「屏風まつり」は、店の間から中庭、奥の間まで見渡せる座敷で展示。



細かな細工はもちろん、稚児や禿、囃子方まで一人ひとりの表情も豊か。

同じ品をつくってほしいと依頼されることもあるが、残念ながらこれだけのものをつくれる職人はついにいなくなりました。「数年後には鷹山さんが復活されますが、どうしたものかと思案中で」と苦笑いする。祭ともなれば多くの観光客が訪れ、四条の店々はかき入れどきとなるが、田中彌では店の陳列棚の2～3割は非売品コレクションで埋まる。商売気のないことこの上ないが「これもお祭りへのご奉仕の一つ。そんな大層なことではなく、みなさんが伝来の品を出して「屏風まつり」をされるのと同じです。まちへお越しになる方に少しでも楽しんでいただければ」と話す。

ビルが立ち並ぶ四条にあって、いまま町家の風情を守り続ける店の姿とあいまって、田中彌の山鉾模型は京の老舗の矜持を改めて感じさせてくれる。



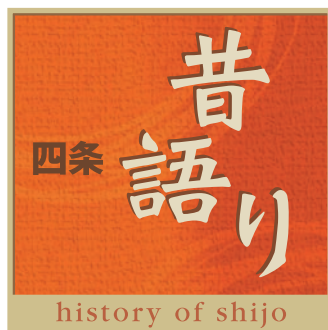
吹き抜けに展示されているのは、鉾の先まで入れると2mを越える大型模型。



懸装品を付ければ見えなくなってしまう「縄がらみ」まで忠実に再現。

京人形 田中彌

京都市下京区四条通柳馬場東入ル
立売東町9
TEL.075-221-1959



新装なった南座に想う 「素人顔見世」と戦時下の映画の思い出

このまちにまつわるエピソードを綴る昔語り。

まだ人々の記憶のうちに留まっている思い出から

まちと人の歩みを語り継ぎます。

旦那衆によるもう一つの顔見世

昨秋、南座が約3年ぶりに無事耐震工事を終えて懐かしい顔を見せてくれた。南座発祥400年に当たることもあり、年末恒例の顔見世興行も多くのまねきが上がって盛大に行われた。南座は平成3年（1991年）にも大々的な内装工事があり、いままであった升席が廃止され新たにテーブルと椅子席へと変わった。そのうち国の有形文化財にも登録され、鴨川畔に立つ南座の威容は、我々四条のまちの人間にとっても昔も変わらぬ誇りである。

南座は実は個人的にも忘れられない縁がある。いまを遡ること35年前の昭和59年（1984年）。吉例顔見世興行が千穰楽を迎えた翌日、「素人顔見世」と題した公演で南座の舞台に上がったのである。これは京都在住の著名人・文化人といったいわゆる「旦那衆」が、前日まで顔見世で使われていた衣裳や道具をそっくりそのまま使って演じるというもので、昭和27年から幾度か中断しながら平成5年まで続けられていた。ほんものの顔見世には及ぶすべもないが、年末のもう一つの風物詩だった。

なんの因縁(?)か、私もこれに出させていただくことになり、京鹿子娘道成寺のタイトルを今風に改めた「都道成寺」の白拍子まさ子を舞わせていただいた。先輩命令で断れずに出演が決まったものの、練習はわずか1週間という無茶な話。まあ不出来でも止む無しか…と思っていたところ、稽古をつけに来てくださったのはなんと十三世片岡仁左衛門さん。人間国宝に「遊び半分は困る」と言われたら、あとはもう必死になるしかない。電車に乗るにもウォークマンでおさらし、無意識のうちに出てしまった女方の舞の“手ぶり”に目の前の乗客に失笑を



昭和4年（1929年）、当時の技術の粋を尽くして竣工された南座。その後80年以上にわたって愛され国の登録有形文化財となっている。（松竹提供）



昭和59年の素人顔見世「都道成寺」で白拍子を演じた筆者。(写真右)

かった…なんていうのもご愛敬。当日、着付けてもらった衣裳は豪華そのもので、化粧を終え、生まれて初めての体験に、鏡をのぞいてみると自分の女方姿に「ゾクッ!!」とした。

私はとにかく周囲のみなさんはさすがに京の旦那衆のこと、踊りやお謡を習っている人も多く、芝居は素人でも鑑賞者としては👍

目の肥えた人ばかり。舞台上上がっても堂々たるもので、大向うからは「漬物屋!」「本屋は一ん!」なんて声も上がって笑いを誘っていた。大真面目なこの旦那衆たちの“お遊び”は京都の文化の層の厚さを垣間見させてくれるものだったといえるだろう。これがなくなってしまったのはほんとうに惜しい。👎

南座で見た戦地の映画

また、我々戦中派の人間にとって、もう一つ忘れることができないのは、戦時中この南座が軍の司令によって映画館として使われていたこと。顔見世は途切れることなく行われたそうだが、普段の芝居はご法度になっていたように記憶している。

当時私は国民学校の三年生。叔母に連れられてこの南座で「セレベス」という南方の島々を紹介した記録映画を敷席で見た記憶がある。いまとなっては南座が戦時中に映画館となっていたことを知る人も少ないのではないだろうか。

新装なった南座がいつまでも、いつまでも、芝居が見られる劇場であり続けることを願うのみである。

南座さん、新装おめでとうございます。

[文／四条繁栄会商店街振興組合・滝川一]



素人顔見世のかつらや衣裳はすべて前日まで本物の顔見世で使われていたもの。筆者もプロの手によって別人に変身。

平成30年(2018年)11月、新装なった南座。(松竹提供)

八坂神社の蛭子船に思う

毎年、我が家の恒例となった新年行事があります。八坂神社の蛭子船の巡行です。新年の1月9日午後3時に八坂神社を出て、四条烏丸で折り返して八坂神社に戻ります。チャンチャンドンという鉦や太鼓のお囃子とともに「商売繁盛で笹をもってこい祇園の蛭子に福もらお」とうたいながら選ばれた30人の福娘が二人一組になって各々の商店に入り、商売繁盛の願いを込めて口上を言いながら福笹を手渡します。宝船には七福神の衣装と面を付けた、祇園や四条の商店街の皆さんが沿道の人達に手を振りながら進んでいきます。

この蛭子船の巡行は、平成11年から祇園商店街と四条繁栄会とがご奉仕して行われるようになった、まだ比較的新しいものです。最初は福娘もお願いして10人を集めて行われました。その時から主人がお手伝いをしていたので、



私は見学に行っていました。その年は冷たい雨が降り、見物客も少ないさみしいものでした。しかし、その後20年間雨などで中止になった事はありません。今では全国から福娘になりたいくて数百人の応募があり、お店の方も丁寧に福笹を受



取ってくれる恒例の行事となりました。私はひょんなことから福娘の着付けのお手伝いをするようになりました。かれこれ10年程になるでしょうか。八坂さんの蛭子社に拝礼して隊列を組むころは、かなりの寒さです。福娘は白い着物に朱の袴、頭には金の鳥帽子をのせます。道中では福娘がお店に入って福笹を渡す間にも船は進んでいくので、おいていかれる事が多く、その都度走って追いついたりしている間に鳥帽子が取れたり寒さなんかどこ吹く風のように、パタパタと本当にお祭り騒ぎのようです。でも、沢山の方々に寒い中、お店の前ですっと待っていただき、福娘から笹を受取られる時の笑顔が忘れられません。お祭りが済んだ後からも、福娘さんから就職が決まりましたとか、来年結婚しますといった便りがきたりして、とてもうれしい気持ちになります。なんだか私も福を授かっている気になります。まだ始まって間もない蛭子船の巡行ですが、最初から関わらせていただいたご縁のある行事ですし、主人や息子も供奉員や列方としてお手伝いしている家族総出のこの蛭子船巡行が、長く歴史に残る行事になる事を願っています。

皆さまにも福がありますよう、是非一度ご覧になってください。

漆器のアソベ 遊部 明美

すべてのモノにストーリーがあり、その背景を知ることができるモノの本当の価値を知ることにつながる

ル・ノーブル京都四条本店は、四条通で商売をさせて頂き今年で20年になります。老舗企業が集まる四条の場所で、まだまだ歴史は浅いですがここまで続けてこられたのも、ひとえに地域のお客様と商店街の諸先輩方のご指導のおかげであると、大変感謝しております。私達が取り扱うのは世界中からセレクト、輸入したテーブルウェア、とりわけ洋食器が多いことから今回はヨーロッパにまつわるお話を。

ル・ノーブルが取り扱うブランドは180種類以上、その中にオーストリアの「アウガルテン」というブランドがあります。ヨーロッパではマイセンに次ぐ2番目に古い窯で300年の歴史を持ち、ハプスブルク家とも深い関わりがあります。そのオーストリアと日本が正式に外交を開始して今年で150周年を迎えます。その年を記念して全国で展覧会やイベントが開催されますが、ぜひオススメしたい展覧会の一つが、今秋10月に東京の国立西洋美術館で開催される「ハプスブルク展 ― 600年にわたる帝国コレクションの歴史」です。ハプスブルク展という名での日本での展覧会は実に10年ぶりだと思います。残念ながら関西での開催はないので東京に足を運ぶしかありませんが、数年ぶりに開催されるこの展覧会は一見の価値あります。

ハプスブルク家といえば言わずと知れた世界最大規模の領地を支配し栄光を築いた一族。その彼らの収集した膨大なコレクションを通して、当時のヨーロッパの歴史・人物・時代背景を知ることができるまたとない機会です。歴史や文化を知っておくことは、洋陶磁器を取り扱う仕事柄とても大切なことのため、常に情報を入れるようにしているのですが、歴史を手繰り寄せていくと、そのさきに陶磁器の歴史が紐づいていて、まるでパズルのようにピースがはまって謎が解けていくことがあります。たとえば、今回冒頭で紹介したハプスブルク家。オーストリアから離れたイタリアのリ

チャードジノリという窯で、マリアテレジアのためにデザインした「グランデューカ（イタリア語で大公妃）」と呼ばれる柄のシリーズが存在します。遠く離れたイタリアでなぜ?と思われるかもしれませんが。実はマリアテレジアは、政略結婚が当たり前の時代に恋愛結婚を成就させることができた非常に珍しい人物です。そしてこの結婚こそが、グランデューカシリーズの誕生に大きく結びついているのです。

この結婚、認めてもらうために夫となる人物が、当時所有していた領地をフランスへ割譲するという選択をしなければなりません。そしてその代わりに与えられたのが、トスカナ大公という地位でした。ちょうどその時期リチャードジノリが開窯。そのため、トスカナ大公妃となったマリアテレジアのためにこのシリーズが誕生したというわけです。たった1組の婚姻によって当時のオーストリアとイタリアがつながり、そしてそれがモノ（陶磁器）にも反映されているというストーリー。

余談になりますが、マリアテレジアは熱心な古伊万里コレクターであり、日本の美術も多く収集し、その影響を大きく受けたと思われる末娘のマリアアントワネット（後のフランス王妃）も熱的な漆器の愛好家としてヴェルサイユ宮殿に多くのコレクションを残しました。モノの背景にあるストーリーを知することは、真の価値に気づくとても大切な要素なのだとことを教えてください。

私たちが住む京都にも多くのストーリーが存在しています。近年、手軽に入手できる膨大な量の情報は知識を豊かにしてくれるかもしれませんが、その背景にある本質的な価値を追求し続けたいものです。

テーブルウェア専門店 ル・ノーブル 辻 典之



おこしやす 京の歳時記

京都には、長い歴史と文化から育まれた
季節感のある祭りが多くあり行事が営まわれています。

その中から、京都をより知り、味わえるよう

6月から12月までの祭と祭事を選びました。

*日程／場所／最寄り交通機関／問い合わせ先（変更になる場合がございますのでご注意ください）

6月 水無月

■鴨川納涼床

～9月30日（期間は店により異なる）／鴨川西岸 二条～五条／
<http://www.kyoto-yuka.com/>

■貴船の川床（かわどこ）

～9月30日（期間は店により異なる）／貴船川沿い
☎075-741-2016（貴船観光会）

■瑠璃光院 春の特別拝観

～6月30日／瑠璃光院／
叡山電鉄「八瀬比叡山口」／
☎075-781-4001

■御誕辰祭 大茅の輪ぐり

25日／北野天満宮／
市バス「北野天満宮前」／
☎075-461-0005

■あじさい園の公開

～7月7日／三室戸寺／京阪「三室戸」／
☎0774-21-2067



鴨川納涼床

8月 葉月

■醍醐山万灯会

5日／醍醐寺／地下鉄「醍醐」／☎075-571-0002

■六道まいり

7日～10日／六道珍皇寺／市バス「清水道」
☎075-561-4129

■お精霊迎え・送り

7日～16日／
千本糸んま堂／
市バス「千本鞍馬口」
☎075-462-3332

■大文字送り火

16日／京都五山

■梅津六斎念仏

25日／梅宮大社／
市バス「梅／宮神宮前」／
☎075-861-2730



千本間魔堂精霊迎え

7月 文月

■祇園祭

1日～31日（17日／前祭山鉦巡行、神幸祭、24日／後祭山鉦巡行、
花傘巡行、還幸祭ほか）／☎075-752-0227（京都市観光協会）

■精大明神例祭 七夕祭

7日／白峯神宮／市バス「堀川今出川」／☎075-441-3810

■貴船の水まつり

8日／貴船神社／京都バス「貴船」／☎075-741-2016

■宵宮祭 本宮祭

20・21日（予定）／伏見稲荷大社／JR「稲荷」／☎075-641-7331

■寺物虫弘会

25日／真如堂／
市バス「真如堂前」／
☎075-771-0915

■千日詣り（千日通夜祭）

31日・8月1日／愛宕神社／
京都バス「清滝」より
徒歩120分
☎075-861-0658



伏見稲荷大社本宮祭

9月 長月

■八朔祭

1日／松尾大社／阪急「松尾大社」／
☎075-871-5016

■重陽祭

9日／車折神社／京都バス「車折神社前」／☎075-861-0039

■観音加持青龍会

14日・15日／清水寺／市バス「清水道」／
☎075-551-1234

■勅祭 石清水祭

15日／石清水八幡宮／京阪「八幡市」／
☎075-981-3001

■ぜんそく封じ へちま加持

13日（仲秋の名月）／赤山禅院／市バス「修学院離宮道」／
☎075-701-5181

■賀茂観月祭

13日（仲秋の名月）／上賀茂神社／
市バス「上賀茂御園橋」／☎075-781-0011

10月 神無月

■神幸祭

9月28日～10月6日／御香宮神社／近鉄「桃山御陵前」／
☎075-611-0559

■壬生狂言

12日～14日／壬生寺／市バス「壬生寺道」／☎075-841-3381

■笠懸神事(流鏑馬神事)

20日(予定)／上賀茂神社／市バス「上賀茂神社前」／☎075-781-0011

■栗田祭

12日～15日／栗田神社／
市バス「神宮道」／
☎075-551-3154

■えと祈願祭

20日(予定)／下鴨神社／
市バス「下鴨神社前」／
☎075-781-0010

■時代祭

22日／京都御所～平安神宮／
☎075-752-0227(京都市観光協会)



時代祭

11月 霜月

■亥子祭

1日／護王神社／地下鉄「丸太町」／☎075-441-5458

■曲水の宴

3日／城南宮／
京都らくなんエクスプレス(バス)「城南宮前」／
☎075-623-0846

■お火焚祭

16日／糸びす神社／京阪「祇園四条」／
☎075-525-0005

■数珠供養

23日／赤山禅院／市バス「修学院離宮道」／☎075-701-5181



亥子祭

12月 師走

■針供養

8日／虚空蔵法輪寺／阪急「嵐山」／☎075-862-0013

■釈尊成道会・大根焚き

8日／妙満寺／京都バス「幡枝」／☎075-791-7171

■終い弘法

21日／東寺／近鉄「東寺」／☎075-691-3325

ART

場所／日程／休館日／料金

*都合により変更になる場合がございます。悪しからずご了承ください。

●大丸京都店 大丸ミュージアム〈京都〉(6階) ☎075-211-8111

開館時間は10時～20時(入場は閉場の30分前まで *最終日は閉場時間が変更になる場合がございますので、お問い合わせください)

■第68回 チャーチル会

7月24日(水)～29日(月)／無料

■リラックマタウン

8月14日(水)～26日(月)／観覧料未定

■ベニシアさんの手作り暮らし展

9月11日(水)～23日(月・祝)／観覧料未定

■かこさとし展

10月30日(水)～11月18日(月)／観覧料未定

●高島屋京都店 グランドホール(7階) ☎075-221-8811

■大くまモン展

7月31日(水)～8月12日(月・休)／10時～20時、最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／無料

■圓照寺門跡 山村御流いけばな展

8月28日(水)～9月2日(月)／10時～19時、8月30日と最終日は17時まで(いずれも入場は閉場の30分前まで)／無料

●京都国立近代美術館 ☎075-761-4111

■トルコ至宝展 チューリップの宮殿トプカプの美

6月14日(金)～7月28日(日)／火～木・日曜 9時30分～17時 ※ただし6月中の金曜・土曜は20時まで、7月中の金曜・土曜は21時まで開館(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし7月15日(月・祝)は開館、翌7月16日(火)は休館／一般1500円他

■ドレス・コード?—着る人たちのゲーム

8月9日(金)～10月14日(月・祝)／火～木・日曜 9時30分～17時 ※ただし金曜・土曜は21時まで開館(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし8月12日(月・休)・9月16日・9月23日・10月14日(月・祝)は開館、8月13日・9月17日・9月24日(火)は休館／一般1300円他

●京都国立博物館 ☎075-525-2473

■特別展 流転100年 佐竹本三十六歌仙絵と王朝の美

10月12日(土)～11月24日(日)／火～木・日曜 9時30分～18時、金・土曜20時まで(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし、10月14日(月・祝)・11月4日(月・休)は開館、10月15日・11月5日(火)は休館／料金未定

■特別企画 京博寄託の名宝 -美を守り、美を伝える-

8月14日(水)～9月16日(月・祝)／火～木・日曜 9時30分～17時、金・土曜21時まで(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし9月2日(月)・9月16日(月・祝)は開館／一般520円他

■特集展示 新収品展

7月2日(火)～8月4日(日)／開館時間は上記と同じ／月曜休館 *ただし7月15日(月・祝)は開館、7月16日(火)は休館／一般520円他

■特集展示 赤って じつはどんな色?

7月2日(火)～8月12日(月・休)／開館時間は上記と同じ／月曜休館 *ただし7月15日(月・祝)・8月12日(月・休)は開館、7月16日(火)は休館／一般520円他

■特集展示 京都御所障壁画 紫宸殿

2020年1月2日(木)～2月2日(日)／火～木・日曜 9時30分～17時、金・土曜20時まで(いずれも入館は閉館の30分前まで)／月曜休館 *ただし1月13日(月・祝)は開館、1月14日(火)は休館／一般520円他

■新春特集展示 子(ね)づくし—干支を愛でる—

2020年1月2日(木)～2月2日(日)／開館時間・休館日・観覧料は上記と同じ

■特集展示 神像と獅子・狛犬

2020年1月2日(木)～3月22日(日)／開館時間は上記と同じ／月曜休館 *ただし2月24日(月・休)は開館、2月25日(火)は休館／一般520円他

■特集展示 雛まつりと人形

2020年2月15日(土)～3月22日(日)／開館時間・休館日・観覧料は上記と同じ

『天満宮菜種御供』

お人好しの道真公を嘲笑する
「時平の七笑」でおなじみ

菅原道真と藤原時平^{ときひら}の確執を描いた天神記系の戯曲のなかでもすぐれた作品の一つといわれ、安永6年（1777年）に初演された並木五八（のちの初世並木五瓶）の作。近松門左衛門の『天神記』や武田出雲らの『菅原伝授手習鑑』などから新しく構想したもの



道真公にちなみ、いまも学問の神様として信仰を集める北野天満宮。



「拾遺都名所図会」より北野天満宮 菜種御供の図。（国際日本文化研究センター蔵）

いわれ、加茂の社や内裏、道真の館、北野天満宮などが舞台となっています。

右大臣の道真は謀反を企んだ疑いがかけられますが、それは野心旺盛な左大臣・時平が醍醐帝に讒言してでっち上げたもの。そうとも知らない道真は、大内裏にて懸命に弁明します。時平はしらじらしくも「道真が悪事をはたらくわけがない」と力説しますが、九州・大宰府への流罪が確定し、道真は後事を時平に託して内裏を去ります。そして舞台に一人残った時平は、道真のお人好しぶりをあざ笑うのでした。このとき七種に変化する不気味な笑いが見せ場の「時平の七笑」。近年ではこの場だけが上演されます。

題名となっている「菜種御供」とは、かつて道真の命日である2月25日に北野天満宮で行われていた神事で、一説には菜種が「なだめる」の音に通じること由来しているとも。現在は梅花祭と呼ばれるようになっていますが、神職が冠に菜の花を飾って奉仕する姿に往時の風習が残されています。

南座公演ラインナップ 2019年6月より

6月	2日(日)	南座新開場記念	出演	中村梅玉 坂東巳之助 中村隼人／他	料金(税込)	1等席	14,500円
	26日(水)	新作歌舞伎 NARUTO-ナルト-				2等席	8,500円
8月	2日(金)	南座新開場記念	出演	中村獅童 初音ミク／他	料金(税込)	3等席	5,000円
	26日(月)	南座八月超歌舞伎				特別席	15,500円
9月	2日(月)	南座新開場記念	出演	片岡愛之助 中村七之助 市川中車／他	料金(税込)	※3歳以下は入場不可。 満4歳より1席購入要	
	26日(木)	九月花形歌舞伎				1等席	12,500円
						2等席A	7,000円
						3等席	4,000円
						特別席	13,500円
						1等席	16,500円
						2等席A	8,500円
						2等席B	5,500円
						特別席	17,500円

●お問い合わせ／京都・南座
TEL.075-561-1155

●一般電話予約／チケットホン松竹
TEL.0570-000-489 (ナビダイヤル) または TEL.06-6530-0333
ナビダイヤルは一部交換機種などの設定によってはかかりません。(受付時間／10:00~18:00)

わがまち、わが店の
おもてなしをご紹介

四条 おもてなし 百彩

橋本町 (はしもとちょう)

四条大橋の西のたもとに位置し、四条通(四条大路)を挟む両側町。西側を高瀬川が流れる。祇園社(八坂神社)への参道として早くから開けており、寛文12年(1672年)の洛中洛外大図では橋詰町とある。

進物に、お茶のひとつに 自社焙煎の黒豆の香ばしさ

厳選した素材を使った和菓子で、進物にも人気の高い「寛永堂」。とくに健康にいいとされる黒豆については、丹波の自社工場で丁寧に焙煎しており、黒豆茶を使った羊羹やゼリーは、豊かな風味と香りの高さが好評です。店頭では夏になると、たらいで冷やした人気の水羊羹「黒豆茶やわらぎ羹」なども登場し、目にも涼やか。2階の茶寮は京都らしい落ち着いた雰囲気、甘味とともにゆっくりとお茶が楽しめます。



夏は冷やして楽しみたい「黒豆茶やわらぎ羹」。

上州生まれ、京育ち 自家製うどんと季節の料理



薬味野菜と出汁をからめて楽しむ定番「名代おめん」。

銀閣寺の地で創業し、上州伊勢崎に伝わる手打ち麺「おめん」を楽しませてくれるお店です。出汁に胡麻と金平ごぼう、旬の野菜を薬味として入れ、つけ麺で味わうのが定番。お酒にもよく合います。ニューヨークにも店を構え、店舗ごとに季節の創作料理が供されるのも特徴です。四条先斗町店ではファミリー層や女性一人のお客さんも多く、夏には洋風の変わり麺も好評とか。

生麩や湯豆腐、湯葉づくし 京の味に何度も来たくなる

四条でもとくに人通りの多い先斗町あたり。そのなかにあって「たにぐち」は京都らしい落ち着いた空間が出迎えてくれる店です。四条のなかでも歴史は古く、明治のころに青果店として創業。口の肥えた京の人々にも満足してもらえる味をと、京料理の店として暖簾を掲げて20年。生麩や湯豆腐、湯葉などを御膳や懐石コースで堪能させてくれます。料理はもちろん、女将との会話を楽しみに通うファンも多く、海外からも繰り返し訪れる人があるとか。懐石コースは予約が必要です。



暖簾を一步くぐると、落ち着いた空間。

寛永堂 京都四条本店

京都市中京区先斗町通四条上ル柏屋町171-3
TEL.075-229-6282
【営業時間】9:00~22:00 茶寮 10:00~21:00
【URL】<http://www.kaneido.com>

名代おめん 四条先斗町店

京都市中京区四条通先斗町西入ル
TEL.075-253-0377
【営業時間】11:00~16:00(L.O.15:30)
17:00~21:00(L.O.20:30) 不定休
【URL】<https://www.omen.co.jp>

京料理 たにぐち

京都市中京区四条大橋西詰柏屋町171
TEL.075-221-4742
【営業時間】12:00~14:00 17:30~21:00 木曜休



- | | |
|------------------------|------------------|
| ① 寛永堂 京都四条本店 | ⑥ サビエンス四条木屋町ビル |
| ② 名代おめん 四条先斗町店 | ⑦ すき家 四条木屋町店 |
| ③ 京料理 たにぐち | ⑧ 楽蔵／鮮や一夜 四条河原町店 |
| ④ ドトールコーヒーショップ 京都四条大橋店 | ⑨ マクドナルド 四条大橋店 |
| ⑤ ひとり焼肉やる気 四条河原町店 | |

鴨川を見渡す席で 鮮度の高いコーヒーを一杯



1980年からのロングセラー「ジャーマンドック」。

高品質な豆を国内の自社工場焙煎し、鮮度の高いコーヒーを楽しめる「ドトールコーヒーショップ」。シンプルな素材のおいしさを追求したジャーマンドックは、1980年のブランド誕生から続くロングセラーです。モーニングやランチ、ティータイムなど、それぞれにぴったりのメニューが用意されていて、全国の店で使えてお得なドトール バリューカードもアプリで登場し、さらに便利になっています。京都四条大橋店は客席から鴨川が見渡せることでもおなじみ。1階から4階まで120席以上あり、思い思いの過ごし方ができるお店です。

お一人様で楽しむ贅沢焼肉 気軽なランチも大好評

京都を拠点に30年以上にわたって焼肉店を展開する「やる気グループ」。四条界限だけでも、ワインを味わうバル形式や肉割烹など、さまざまな焼肉の楽しみ方を提案してくれるお店があり、なかでも四条小橋そばにあるのが「ひとり焼肉やる気」。モダンな店内のなか各カウンター席にロースターを設けたスタイルは、仕事やショッピングの足で立ち寄る人も多く、まさに四条の繁華街ならではの。タレに漬け込んだ特製肉から贅沢な厚切り牛たんまでそろい、ランチの定食も種類が豊富。仲間や家族と楽しめるテーブル席もあります。



テーブル席で仲間や家族と楽しむのもOK。

アクセス抜群！ 食と美容の“行きつけ”に

四条通に面し、今年でちょうど半世紀。地下1階～地上7階の「サビエンス四条木屋町ビル」には、ハイボール専門店「HIGHBALL B A R 京都1923」や牛丼「すき家」、居酒屋「半兵衛」、リラクゼーション「コリとり名人



阪急河原町駅から徒歩1分と交通至便。

癒庵」、焼鳥「鳥二郎」「鳥貴族」、美容室「LUXBE MEL」、タイ・バリ料理「熱帯食堂」と飲食から美容までが軒を連ね、阪急河原町駅から徒歩1分とアクセスも抜群。迷ったら足を延ばす“行きつけ”のビルにおすすめです。

ドトールコーヒーショップ京都四条大橋店

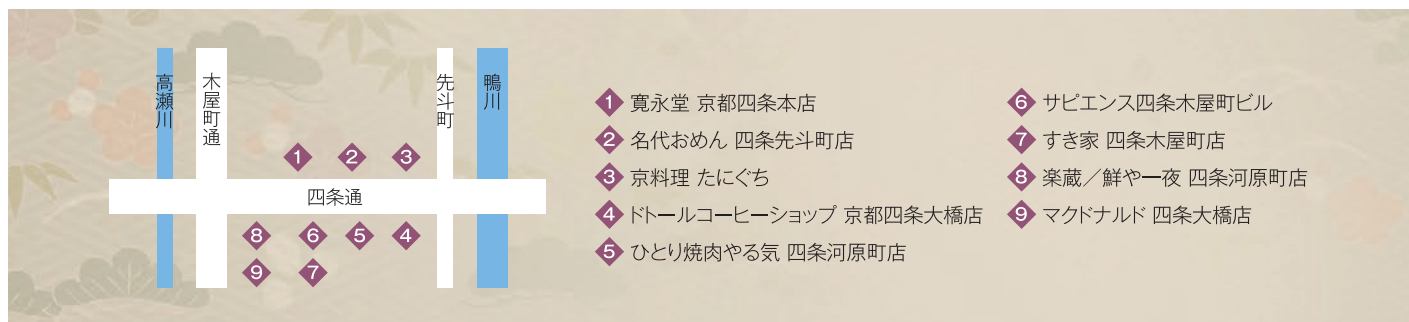
京都市下京区四条通小橋東入ル橋本町113
TEL.075-223-0523
【営業時間】7:30～22:00 日祝8:00～21:00 無休
【URL】<https://www.doutor.co.jp>

ひとり焼肉やる気 四条河原町店

京都市下京区四条通小橋東入ル橋本町111
四条アイブリ屋ビル1F
TEL.075-211-2981
【営業時間】11:30～23:40(L.O.23:00)
【URL】<http://www.yaruki.co.jp>

サビエンス四条木屋町ビル

京都市下京区四条通小橋東橋本町109
管理／株式会社スペースサビエンス
TEL.075-461-7771



メニュー豊富な牛丼を 24時間365日!!

おなじみの牛丼をはじめ、豊富なトッピングやセットメニューも充実。牛丼以外にも丼商品や朝食メニューなどバラエティー豊かな「すき屋」。四条木屋町店は、24時間365日営業していて、いつでも気軽に立ち寄れるまちのオアシス。お出かけや買い物の足で立ち寄りやすく、テーブル席やお子様メニューもあるので、家族や友達と利用するのに便利です。また、夏の季節限定うなぎメニューもおすすめです。
※電子マネー、クレジット可。



女性にも人気の「牛丼サラダセット」。

和モダンな個室ダイニングで 本格炙りか、旬魚と和食か



集まりの席や接待、デートにもおすすめ。

四条小橋北東角のビル2階にある「楽蔵」と「鮮や一夜」。楽蔵は職人こだわりの炙りでうま味を引き立たせた鶏料理と、厳選した山海の幸を楽しませてくれるお店。鮮や一夜はその名の通り、新鮮な旬の魚が堪能でき、創作和食のメニューも豊富。どちらもスタイリッシュな和の空間のなか、個室でゆっくり食事を楽しむことができ、お酒によくあう肴がそろいます。仕事帰りの仲間との一杯や、接待、集まりの席、家族でのお出かけにもおすすめです。

「なにか楽しいことがある」 いつも、できたてのおいしさ

四条とマクドナルドといえば、大きな話題となったのが1972年の藤井大丸への関西初出店。四条大橋店は2008年にオープンし、以来、四条木屋町の顔の一つとしておなじみになっています。『FUN PLACE TO GO』—「マクドナルドに行けば何か楽しいことがある」というわくわく感をいつも提供し、豊富なメニューのラインナップ、キャンペーンを展開しています。注文を受けてからハンバーガーを作り始める「メイド・フォー・ユー」で「できたてのおいしさ」を届けてくれます。



ボリュームたっぷりの「ビッグマックセット」。

すき家 四条木屋町店

京都市下京区四条通小橋東入ル橋本町109
ビュッフェビル
【営業時間】24時間 無休
【URL】<https://www.sukiya.jp>

楽蔵／鮮や一夜 四条河原町店

京都市下京区四条通小橋東入ル橋本町105 2F
TEL.075-253-6766(楽蔵) 075-221-3077(鮮や一夜)
【営業時間】17:00~23:30 無休
【URL】<https://dkdining.com>

マクドナルド 四条大橋店

京都市下京区四条通小橋東入ル橋本町105-1
【営業時間】24時間 無休
【URL】<http://www.mcdonalds.co.jp>

インフォメーション 四条

情報誌「四条」
次号発刊について

四条繁栄会では様々な活動を行っております。
今号ではその一部をご紹介します。

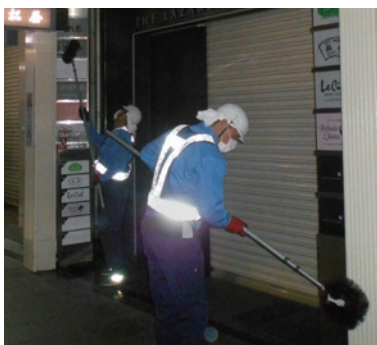
次号の発行時期につきましては、
決まり次第、四条繁栄会のホーム
ページでお知らせいたします。

四条繁栄会ホームページ
<https://www.kyoto-shijo.or.jp>



四条通自転車走行・ 駐輪禁止の呼びかけ

四条通（烏丸通～東大路通）の歩道は、
自転車の走行・駐輪が禁止されています。
四条繁栄会では毎週3日、四条通（烏丸
通～四条大橋間）の駐輪禁止と降車の協
力を呼びかけています。



歩道の清掃とアーケード 設備メンテナンス

四条通をご利用の全ての方に、
安全でゆっくりとお買い物ができる
楽しいショッピングストリートとなる
よう、歩道の清掃やアーケード設備
のメンテナンスを行っております。

おすすめ商品のご紹介

四条通地下道9番出入口横のショー
ウィンドウに毎月3加盟店ずつ、おす
すすめ商品などを展示しております。
ご通行の際にはご覧いただき、気にな
る商品がありましたら、ぜひお店に
行ってみてください。

